

— 学 会 録 事 —

日本学術会議第14期会員の会員及び補欠の会員として推薦すべき者の決定について

昭和63年7月14日付で、日本学術会議会員推薦管理会委員長久保亮五氏より日本藻類学会（登録学術研究団体代表者）宛に、第4部生物科学・植物科学の会員として推薦すべき者として、竹内郁夫（京都大学理学部）、補欠の会員として推薦すべき者として梅崎勇（京都大学農学部）に決定した旨の通知がありました。

日本藻類学会主催第3回ワークショップ・海藻採集会参加記

学会終了直後に学部専用のバスで一路志摩半島にある三重大学生物資源学部付属の水産実験所に直行した。途中1回の休憩をはさんで陸路約2時間で英虞湾に面する和具の町内に到着。ついで今回のワークショップのお世話をしてくださった前川さんが、10数名乗りのボートを操縦して、すでに真っ暗闇の湾内を真珠



写真1. 実験所前の舟着場にて、出発前の総勢17名



写真2. 矢取島での採集風景

養殖のいかだをすりぬけながら、我々を実験所のある座賀島に運んでくれました。その夜は世話人である喜田教授の三重県沿岸の海藻植生についての講義のあと、総勢17名の参加者による大変にアットホームな雰囲気第1回目の懇親会が開かれた。

翌日、英虞湾をはさんで対岸にある浜島町矢取島に今度は大きな舟で出かけた。好運にも晴れで、採集にもってこいの日和であった。ここは小規模ながら大変に採集しやすい磯で、素潜りで採集する人、ヒジキを見て感動する人、さまざまな採集風景が見られた。その日の収穫物を話題にして磯で食べた弁当はなんとも美味であった。食後、希望者を募って喜田・前川両氏の研究フィールドである大飛佐多（オビシヤタ）へ舟で向い、今回の採集会の呼び物であるスキューバ潜水による「アラメ・カジメ群落見学会」を行なった。水面はまったく波が立たず潜水には最高のコンディションであった。ここでは水深5—8m付近にアラメ群落が発達しており、伊豆半島で見られる水深1—3mにアラメ、それ以上深ではカジメという住み分けとはすっかり違った様子であった。場所による植生の差を肌身で感じとれたのは有意義であった。採集品を実験室に持帰り種類を調べていると思ったよりも多くの種類が採集されていた。さすがに海藻の研究者がこれだけ集まると思いもかけないような種類が取れる物だと感心した。その日の採集疲れもなんのその、夜の海の幸による第2回の懇親会はまことに盛大なものであった。

翌日は朝から大雨。もし1日ずれていたら実に成果の上がない採集会であったろうと思われるが、主催者である喜田教授や前川さんのほっとした顔が印象的であった。午前中採集品の整理をし、昼食後に喜田教授のヒトエグサ養殖に関するスライドを見せていただいて昼過ぎに解散した。

この実験所の宿泊棟、実験棟共に大変に立派なもので、とても快適に過ごせた。機会があれば何回でも利用したい施設である。

藻類学会主催のワークショップも今回で三回目であり、いよいよ定着した感がある。是非とも来年以降もいろいろな企画でワークショップが開催されることを期待している。今回大変に貴重な経験をさせていただいた関係者一同に御礼申し上げる。

参考までに今回採集された種類をあげておく。〔三重県志摩郡浜島町、矢取島および大飛佐多（オビシヤ

タ)で採集された海藻(昭和63年4月1日)](分類順不同)

緑藻類(18種類):ヒトエグサ, アナアオサ, ボタンアオサ, ウ斯巴アオノリ, ヒラアオノリ, ホソジュズモ, アミモヨウ, タマゴバロニア, イトミル, ハイミル, タマミル, ネザシミル, クロミル, チャンシオグサ, オオシオグサ, フサイワツタ, キッコウグサ, ペドベシア

褐藻類(37種類):アミジグサ, フクリンアミジ, サナダグサ, フタエオオギ, ハイオオギ, ウミウチワ, シワヤハズ, ヤハズグサ, シワノカワ, マタサキクロガシラ, イロロ, イシゲ, ハバノリ, イワヒゲ, クロモ, モズク, ネバリモ, カゴメノリ, カヤモノリ, ムチモ, ヒラムチモ, イチメガサ, ケヤリ, ツルモ, ワカメ, カジメ, アラメ, ジョロモク, ヒジキ, オオバモク, マメダワラ, ウミトラノオ, イソモク, ヒラネ

ジモク, トゲモク, アカモク, ノコギリモク

紅藻類(49種):マルバアマノリ, カモガシラノリ, ニセフサノリ, フサノリ, ヒラガラガラ, ホソバナミノハナ, マクサ, オニクサ, ピリヒバ, カニノテ, ウスカワカニノテ, ヒメカニノテ, ヒオウギ, ヒメモサヅキ, サキヒロモサヅキ, フサカニノテ, ヘリトリカニノテ, クサノカキ, ウミサビ, ヒライボ, エツキイワノカワ, ヒビロウド, キントキ, ムカデノリ, マルバグサ, ツルツル, カバノリ, ナミイワタケ, ハナフノリ, フクロフノリ, ヤレウスバノリ, カギウスバノリ, マサゴシ, カイノリ, コメノリ, ヒトツマツ, マフノリ, ミゾオゴノリ, トサカマツ, ネザシノトサカモドキ, クロヒメゴケ, フトイギス, イトシノブ, ホウノオ, ハネソゾ, コブソゾ, イソハギ, ジャバラノリ

(国立科学博物館・田中次郎)

一 会 員 移 動 一

新 入 会

住 所 變 更

退 会

岩淵 穰, 垣内政宏 (北海道), 岡田行親, 小島 力 (東京都), 高橋洋子 (福井県), 村田 源 (京都府),
生田美和子 (大阪府), 本多敏行 (広島県), 稲垣 彰 (福岡県)

日本藻類学会事務局の「電話番号」の変更のお知らせ

〒606 京都市左京区北白川追分町
京都大学農学部熱帯農学専攻内日本藻類学会
Tel 075-753-6355

賛助会員

- 北海道栽培漁業振興公社 060 札幌市中央区北4条西6丁目 毎日札幌会館内
阿寒観光汽船株式会社 085-04 北海道阿寒郡阿寒町字阿寒湖畔
有限会社 シロク商会 260 千葉市春日1-12-9-103
海藻資源開発株式会社 160 東京都新宿区新宿1-29-8 財団法人公衆衛生ビル内
協和醗酵工業株式会社研究開発本部商品開発部センター
100 東京都千代田区大手町1-6-1 大手町ビル
全国海苔貝類漁業協同組合連合会 108 東京都港区高輪2-16-5
K. K. 白壽保健科学研究所・原 昭邦 173 東京都板橋区大山東町32-17
有限会社 浜野顕微鏡 113 東京都文京区本郷5-25-18
株式会社ヤクルト本社研究所 189 東京都国立市谷保1769
山本海苔研究所 143 東京都大田区大森東5-2-12
弘学出版株式会社 森田悦郎 214 川崎市多摩区南生田6-16-12
田崎真珠株式会社田崎海洋生物研究所 779-23 徳島県海部郡日和佐町外ノ牟井
神協産業株式会社 742-15 山口県熊毛郡田布施町波野962-1
理研食品株式会社 985 宮城県多賀城市宮内2丁目5番60号
-